

海外 “おもしろマナビヤ”事情

学校名入りの Tシャツで 非行が激減



生徒も自分でデザイン
©Rasmus Kaessmann

どこの国でも、問題を抱えている学校があるのは同じ。ドイツ・ベルリンにあるリュトゥーリ基幹学校(小学5年生から高校1年生まで)はつい2~3年前まで、先生たちが身の安全を守るため緊急用の携帯電話を肌身離さず持つという、国内で一番有名な“荒れている”学校でした。全校生徒の約85%はドイツ人でなく、さまざまな国から来た子供たち。多国籍がゆえに、生徒たちのまとまりもなかったのです。

生徒たちに仲間意識を持たせれば、非行も減るのでは——。そこで考えたのが、学校名の入ったTシャツを作ること。制服がまったくないドイツでは珍しい取り組みです。デザインに生徒たちのアイデアを取り入れ、ネット販売も行って校内暴力も激減。今では、再生教育のお手本となっています。

(海外書き人クラブ 伊東ユラ)

ドイツ・ベルリン



おそろいのTシャツで
©RÜTLI-WEAR

海外書き人クラブ

海外在住の日本人ライターによるネットワーク。会員が在籍する国は2008年現在48カ国に上る。代表は柳沢有紀夫さん。著書「日本語でどつぞー世界で見つけた爆笑「ニホン」談集」等。「かがやき」には東京都の姉妹都市からの楽しく、珍しい学校事情を提供していただきます。